

私の出身地である“岩見沢”は呆れる位の豪雪地帯で、雪かきを日課とする地域です。この地で私は大学までを過ごしました。今でも、年越しに里帰りをした際、着いて最初に行うのはやっぱり除雪。下手をするとこの作業に2時間を費やし、なかなか家に入れません。この話題を書いている最中も、当地は既に記録的な大雪となっています。

さて、私は平成4年に現在の会社へ入社して20年になります。入社以来、主に斜面防災系の業務を担当してきました。特に“地すべり”に興味を持ち、オタク人間になった一人です。地すべりは、どれ一つとして同じものはない。姿、形が違うのはもちろん移動体の深さや滑動要因など対峙するユニット毎に異なるため、個別に調査結果などから分析、想像し、考え、理解し、結論づける。地すべりオタク達のお酒の席で誰が言ったか『まるで女性を必死に口説いているよう』、だから飽きずに熱中できるのでしょうか。

そんな私は平成20年4月、晴れて念願であった技術士(応用理学部門)となることができました。最近、『技術士になって、なにか変わった?』と聞かれますが、私自身、以前と全く変わっていません。変わったとしたら、発注者や会社等の評価が厳しくなり、求められる質が高くなった(気がする)こと。そんな大きなプレッシャー(技術士=知識や経験、理解力、表現力に優れる)を背負いつつ、ポジティブな私としては焦らず一歩ずつ技術を研鑽し、日々社会に貢献していきたいと思う次第です。

渡邊 司 (わたなべ つかさ)

●応用理学部門(地質)

勤務先

株式会社 シン技術コンサル
e-mail : watanabe@shin-eng.co.jp



→ 次号は、柴田 純さん(応用理学部門)

私は2003年(平成15年)に北見市で技術職として採用され、下水道課に配属されました。

当時は北見市の下水道課に女性が配属されるのが初めてということで、周りの職員の方々は、とても心配を下さっていましたが、そんな心配をよそにすぐに馴染むことができました。

下水道は今まで生活してきた中でとても身近にありながら、実際にその現場で働くまで特に気にしたことはありませんでした。

ですが、仕事をし始めるとその奥深さにあっという間にとりこになりました。

仕事をしていく中で、技術士をもっていらっしゃるコンサルタントの方々にお世話になることが多く、いつもその知識や観察力に感激して、私もその一員になりたいと考えるようになり、2009年(平成21年)にみなさんのご協力を頂きながら、何とか資格を取得することができました。

その後は、技術士会の講演会や勉強会など、色々なことを学ぶ機会が多く与えられ、常に向上心をもって仕事を進めていかなければいけないなど、気が引き締まる思いで参加しています。

現在は都市計画課で都市計画道路と公園の計画を担当しており、下水道業務に直接携わることがなくなりましたが、技術士としての自覚をしっかりとって、これからも前向きに仕事を進めていきたいと思っています。

市橋 加代 (いちはし かよ)

●上下水道部門(下水道)

勤務先

北見市役所都市建設部都市計画課
e-mail : kayo.ichihashi@city.kitami.lg.jp



→ 次号は、坂口彰則さん(建設部門)